

平城から平安京へ

恭仁京の意味

パネラー

西村 さとみ

奈良女子大学副学長

古代遷都論の立場から

小路田 泰直

奈良女子大学特任教授

国家論の立場から

大和盆地に都のあった時代と、それが平安京に移ってからの時代とでは、時代の雰囲気が変わり変わります。国際色豊かな時代から国風文化へというのもその変化の一つだ。都の位置が変わると、政治も経済も文化もなぜ変わるのか。

聖武天皇によってなされた、平城と平安京の間に位置する恭仁京建設からその意義を探る。

コメンテーター

齊藤 恵美 奈良女子大学特任助教

「大仏について」

大久保徹也 徳島文理大学教授

「考古学から見た南山城」

2022.
5.14 (土)

場所：けいはんなプラザ交流室
「天の川+PLUS」(ラボ棟北側 11F)
要申込(定員 50 名、先着順)
参加費無料

時間：13:30 ~ 16:00

※You Tube ライブ(「奈良女子大学けいはんな
公開講座」チャンネル)による同時配信
※You Tube は申込不要

会場参加申込は
こちらから →



問合せ先

奈良女けいはんな
narajo.keihanna@gmail.com
(QR コードが読み取れない方はこちらのアドレスに
氏名・連絡先をご送信ください。)